



(題字は中村岩次郎元会長) 発行所 柳川市本町142番地 伝習館同窓会 電話 0944-73-3116

ご挨拶



同窓会会長 立花寛茂

今、柳川は(五月中旬)新緑がともきれいで爽やかな季節ですが、皆様如何お過ごしですか?

昨年度は一年限りではありましたが、堀館長が伝習館の歴史や伝統を大切にしながら新しい試みにも取り組まれ、素晴らしい一年でもありました。残念ながら私は観ること

館長着任にあたって

第四十代館長 久保政則



伝習館同窓会会員の皆様におかれましては、ますます御隆盛のことと拝察いたします。また、日頃より母校の教育の充実・発展と在校生諸君への激励のために、特段の御支援と御協力を賜っておりますことに、衷心より篤く御礼申し上げます。

私は、昨年度、定年退職なさいました堀秀行館長の後任として、平成二十七年四月一日付けで、福岡県教育センター教育指導部長より、第四十代館長として着任いたしました。

で頑張ってくれました。全ての人達に良い思い出の一コマになってくれたものと思います。今年度から新たに就任いただきました久保館長も、大変素晴らしい方でこれから大いに期待しています。伝習館は生徒にも恵まれてるけれど、先生や保護者の皆さんにもとても恵まれてる学校だと思えます。私達も母校の発展の為に、更に力を入れていかなければと改めて感じています。

今年に入り三月には恒例の卒業式。二百四十名余りが元気に巣立っていきましたが、これからの活躍が楽しみです。今後同窓会の皆様へ何かとお世話になることもあると思いますが、その時はぜひお力をお貸し頂きませう。そして四月には入学式。なんとなんとまたまた一クラス減って五クラス二百名!保護者の方達が倍位居らしたので体育館もそれなりに埋まっています。

柳川をずーっと離れている方が驚くことがもう一つ。現在西鉄柳川駅の再開発が進んでい

の欄干橋を渡り、銅の鳥居をくぐり抜け、左に折れ、県道に沿った一つ北の昔の面影の色濃く残る路地を行きますと、旭町の浄華寺内に安東省庵先生の墓「三忠苑」があります。柳河藩と柳川の町に育まれてきた伝習館の長い歴史と伝統に身をもって接し、改めて、身の引き締まる思いです。

伝習館の名前の由来は、論語学而篇の中の「曾子曰く、吾、日に吾が身を三省す。人のために謀りて忠ならざるか。朋友と交わりて信ならざるか。習わざるを伝ふるかと」にあります。すなわち、教育者たるものが深く慎むべきものとして、自分がまだ十分に身につけていないことを人に伝えていないか、受け売りだけで人を誤らせないか、という学者的良心から出た反省の気持ちを表現した

が、こればかりはどうしようもありません。増々狭き門になってきてるのは間違い有りませんがそれだけ優秀な子供さん達が来てるのだと思う他はありません。特に今年の新入生は入学式当日から「こんにちは!」と元気に挨拶出来る子も何人もいたので大変心強く思っています。話は変わりますが、先日新聞のコラムで詩聖とよばれた北原白秋先生の詩歌の中に「月から見た地球」というのがあって、それは「円やかな紫の光」というようなのが載ってましたが、それを書かれたのが昭和四年、私が生まれるより十年以上前、かのガガーリンが「地球は青かった」と言うより三十年以上前の事です。流石詩聖と言われただけあって、先生の創造力は勿論想像力の凄さに改めて驚かされました。

が、この度新しい駅舎が完成しました。西口と東口を結ぶ二階の通路も立派なものが出来ました。そして何と云っても柳川で唯一のエスカレーターが誕生しました。(但し上りだけ)昔々銀座デパートや寿屋にあったと思いますが、ここ数十年「エスカレーターのない町柳川」でしたが、一見大都会風になっていきます。久しぶりにお里帰りの際はぜひ西鉄電車をご利用してみてください。

さて、今年の十月の大同窓会です。成清実行委員長を中心に大勢のお世話の皆さんが力を合わせて準備を進めて下さっています。大勢の同窓生の皆様のご参加を心からお待ち申し上げております。伝習館もやがて創立二百周年を迎えます。寄付集めもしなければなりません。そちらも併せて皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

それでは皆様十月に柳川の地で元氣にお会いしましょう!

また、伝習館の校章である三稜は、明治二十七年(西暦一八九四年)に県立に移管された時の初代館長、立花政樹(たちばなまさき)先生が制定されました。先生は、東京帝国大学英文科第一回の卒業生であり、その二年後輩に、かの文豪、夏目漱石がいます。この校章に象徴される三稜精神は、知・徳・体の調和のとれた人材の育成にあり、伝習館教育の根幹をなすものとして、脈々と受け継がれています。

本校の校訓「明朗・誠実・剛健」を念頭に、すべての生徒と職員が一丸となつて、同窓会、保護者、地域の皆様とともに、「チーム伝習」を合い言葉に、創立二百周年を目指して、さらなる飛躍を遂げてまいります。

どうぞ、同窓会の皆様の御理解と御支援をお願い申し上げます。御挨拶いたします。

着任の御挨拶

全日制 教頭 四井 大典

この度の人事異動により、福岡県立輝翔館中等教育学校より赴任しました。

赴任した日に、新しい玄関から入ると「伝習館掲示」が掲げられていました。この「伝習館掲示」が、伝習館を創立された第九代藩主立花鑑賢公が書かれたものと知り、伝習館高等学校の歴史と伝統を認識しました。前任校は、平成十五年度に創立された歴史の浅い新しい学校で、県内唯一の中等教育学校でした。伝習館高等学校は、前任校とは学校の歴史やシステムも大きく異なり、創立百九十二年の歴史と伝統ある学校であると「伝習館掲示」を読みながら身の引き締まる思いがしました。この伝習館高等学校に赴任できたことをたいへん嬉しく思っています。

私事ですが、高校時代に御世話になった先生、教職を志した時に御相談した先生、教職に就き御指導いただいた先生がたが伝習館高等学校御出身の先生でした。私の教師としての節目には伝習館高等学校の卒業生の先生方のお力をいただいていたことに、歴史と伝統の中での巡り合わせであると感慨深いものがあります。さて、この伝習校においても新しい風が吹いています。施設面では、新しい生徒棟も本年度より使用できるようになり、一階に一年生、二階に二年生、三階に三年生が入

り毎日の学習活動を行っています。真新しい教室は、新しい時代にふさわしく教室内の真ん中の柱が室内に出ず広い空間が確保され、生徒達は、快適に勉学に集中できるものとなっています。

また、教育活動においては、二十六年進歩実績と部活動実績によると、生徒達が、三稜精神である「知・徳・体」の調和のとれた人材となり、文武両道を実践していることがわかります。しかし、少子高齢化、高度情報化、国際化などが急速に進む社会の変化の中で生徒達には「思考力・判断力・表現力」といった「生きる力」を育むことが必要となつていきます。本校では、これらを受け、本年度の重点目標の第一に「規律と品位を備えた伝習館生の育成する。」を掲げています。生徒達は、さわやかな挨拶を実践するとともに正しい言葉遣いを励行しています。また、大学入学者選抜の改善も平成三十二年度から計画されています。

このような社会の変化が激しい時代に、卒業生の皆様が受け継いでこられた伝統を在校生が継承するとともに、変化に対応した新たな価値を付け加え発展できるように、職責を果たさなければならぬと思っております。微力ではありますが全力で勤めさせていただきます。よろしくお願いいたします。